

スポーツジャーナリスト養成 夏期集中特別講座 受講生募集

2019年のラグビー・ワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向かつて、スポーツを書いて伝えてゆく仕事が必要とされています。現役スポーツライターとして最前線で活躍するライターに学び、書くことの真のノウハウとスキルを上げる最強の講座を開講します。本気で人に伝える仕事に向き合いたい方であれば、職種等は問いません。講座の全日程終了後、成績優秀者には伝統ある日本スポーツ学会より認定証の授与があります。

スポーツの新たな時代に向かつて、あなたも新しい一歩を踏み出してみませんか。

日程 2017年8月11日(祝・金)、12日(土)、19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日) 計6日間×1日3コマ=全18コマ

時間 9:30～16:00(予定)

場所 東京都渋谷区周辺(詳細は、受講内定者に別途お知らせいたします)

対象 高校生、大学生、社会人、プロとしてすでに仕事をされている方

受講料 180,000円(消費税別) (日本スポーツ学会会員は割引特典あり)

お申込 「履歴書(顔写真添付、書式自由)」と「受講の動機(800字程度、書式自由)」を下記お申込先まで郵送にてお送りください。申込書類の締切は、2017年7月24日(必着)です。受講認定者には、日本スポーツ学会事務局より8月1日を目途にお葉書にてご連絡を差し上げます。

主な講師



玉木 正之

スポーツ&音楽評論家。東京大学教養学部在学中より東京新聞紙上で執筆活動を開始。日本で最初のスポーツライターを名乗る。著書に『スポーツとは何か』(講談社現代新書)『スポーツ解体新書』(朝日文庫)『タイガースへの鎮魂歌』(河出文庫)など多数。訳書にR・ホワイティング『和をもって日本となす』(角川文庫)など。



木村 元彦

ジャーナリスト、ノンフィクションライター。アジア、東欧などの民族問題を中心に取材・執筆活動を展開。著書に『徳は孤ならず 日本サッカーの育て 今西和男』(集英社)、『誇り ドラゴン・ストイコビッチの軌跡』(集英社文庫)など多数。『オシムの言葉』(集英社インターナショナル)で、第16回ミズノスポーツライター賞を受賞。



長田 渚左

ノンフィクション作家。日本スポーツ学会代表理事、スポーツ総合誌『スポーツゴジラ』編集長。女性スポーツライターの草分け。主な著書に『桜色の魂 チャスラフスカはなぜ日本人を50年も愛したのか』(集英社)、『復活の力 絶望を栄光にかえたアスリート』(新潮新書)、『こんな凄いやつがいた』(文春文庫)などがある。

他にも、一流出版社にて現役で活躍されている編集者らを迎えます。

講座概要

- 1) スポーツ・ジャーナリズムとは何か—その歴史と未来
- 2) スポーツとは何か?—その本質を「知る」ための作業
- 3) スポーツを「みる」—その「見方」を自分のものにする
- 4) スポーツを「きく」—インタビューの方法=何をどう訊く?
- 5) スポーツを「想像」する—人間の極限の瞬間を知る方法
- 6) スポーツを「表現」する—書く、語る、撮る etc. ための演習
- 7) スポーツを「考える」—スポーツ界の実状をどう捉えるか?

……等々、映像も用いて、実践に即した講義を行います。

お申込先(書類送付先)

〒168-0063
東京都杉並区和泉1-40-13-401
スポーツネットワークジャパン 気付
日本スポーツ学会 行

主催

日本スポーツ学会
<http://www.sports-gakkai.jp>

お問合せ

TEL: 03-3323-0893

E-MAIL: sports.gakkai@gmail.com